

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応市民活動チャレンジ助成事業
 交付決定団体 一覧

【 8月5日追加交付決定分 】

交付団体 事業名	事業内容	交付決定額
1 多文化ネットおきなわ 那覇市多文化共生ネットワーク構築 ～シェアから始まり、つながる、広がる～	<p>コロナ禍において、収入がなくなり経済的不安や生活困窮にあえぐ外国人留学生や外国人市民が急増している。外国人市民が地域で気軽に相談できる場所や人的サポートが少ない。地域の関係団体、行政、外国人の支援団体や個人、外国人の自助グループ等を連携させ、課題を共有することで多文化共生を創造する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民ヒアリング調査 ・多文化共生ネットワーク会議、シンポジウム(オンライン)等 	¥1,000,000
2 ビューローダンケ 一千一秒物語 withコロナにおける新しい舞台芸術のあり方	<p>コロナ感染拡大により、県内芸術家や興行主催者は催事を開催することが困難となり、収入減となった。今後、生(LIVE)の芸術鑑賞する機会は限られることが想定される。感染拡大防止策をしながら芸術を提供することへの挑戦や今後のアーティスト活動の広がりに繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿った形での安全なクラシック音楽・舞台芸術鑑賞会を開催しその在り方を検証する。 	¥901,000
3 なは市民協議会 「ポストコロナの新しいまちづくり」 地域円卓会議	<p>ポストコロナのまちづくりの課題を整理する場として、「地域円卓会議」を開催する(感染症専門の高山医師など)。YouTube上にダイジェスト版を投稿し、誰もが見られるようにする。10月頃までを目途に開催予定。</p>	¥500,000
4 特定非営利活動法人 沖縄県脊髄損傷者協会 新型コロナウイルス禍における身体障がい者の地域生活影響調査	<p>身体障がい者の「新しい生活様式」を研究分析し、地域共生社会づくりに活かせる方策を提案するため、身体障がい者がどのようなことに困っているかなどの調査を行い(ウェブ及びヒアリング)、結果をまとめ分析、地域生活形態の変化による課題を明らかにする。</p>	¥482,000
5 なはまちぐわー連携プロジェクト次世代会議 那覇グリーンフラッグプロジェクト	<p>第一牧志公設市場やまちぐわー地域全体でのコロナ対策の共通ルールの策定する。来店者へ安心安全をPRするため、グリーンフラッグと店舗提示用ツールを作成する。同グリーンフラッグ参加店舗の情報をWEB掲載する。</p>	¥450,000

¥3,333,000